

総合戦略区分	人材の育成・確保	チームリーダー	政策推進課長 鳥谷健二
(プロジェクトチーム)	(チャレンジ創生プロジェクトチーム)	関係課	政策推進課、地域振興課、うんなん暮らし推進課、広報公聴課、環境政策課、健康づくり政策課、商工振興課、キャリア教育政策課

1. 「人材の育成・確保」の基本方針と指標(目標値及び実績値)

総合戦略に定めた基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能なまち(※)の実現に向け、「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」による社会課題の解決(ソーシャルチャレンジ)を一層進めます。 ※安心して暮らし続けられる地域となること。 ● 人口減少や技術の進展等の社会変化に対応し、まちの持続可能性を高める人材の育成・確保を進めます。 ● 「技術の進展に応じた教育の革新」、「新時代に対応した高等学校改革」に向けて、オープンイノベーション(※)により大胆かつスピード感をもって、未来に役立つ教育環境の創出に取り組みます。 ※異業種、異分野が持つ知識や新技術などを積極的に取り込むこと。 ● 民間活力と連携・協働し、「チャレンジを支える資金調達」「まちに必要な人材の獲得」「チャレンジャーがつながる場づくり」「意志ある人材や投資を呼び込むための情報発信」の4つの機能の充実・強化を目指します。 ● SDGs(※)の考え方や視点を取り入れ、地域内外の様々な企業、NPO、個人等との連携・共創を通じて、ソーシャルチャレンジの更なる深化を目指します。 ※国連が定める持続可能な開発目標 							
	成果指標 (KPI)	単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
A	[幸福度] 安心して暮らし続けられるまちと 感じる市民の割合	%	目標	73.0	73.0	74.0	74.0	75.0
	実績		74.9	74.5				
B	[環境] チャレンジしやすいまちと 感じる市民の割合	%	目標	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
	実績		43.8	44.9				
C	[人材] スペシャルチャレンジ制度への 申請件数	件	目標	40	42	44	46	48
	実績		27	36				
【測定企画】 政策推進課にて実数把握			目標				—	—
			実績				14	37

2. R3年度事務事業の総括・振り返り

プロジェクト名	取り組んだ事務事業の総括
① 子どもチャレンジ	<p>○雲南コミュニティハイスクールコンソーシアムを基軸に高校生世代の魅力ある教育環境づくりに注力。 └探究ハンドブック制作や教職員研修(チームづくり)等による雲南式探究プログラムの進化(学校教育)。 └プログラム設計やラーニングノート制作、サポート強化によるスペチャレJr.プログラムの進化(社会教育)。 ○ICT活用によるアウトリーチ事業(別室・家庭支援、ユースワーカー派遣)等による教育支援センターの充実。 ○教職員研修(師範授業・プランニング講座等)の充実による英語教育や情報教育等の指導力・体制の強化。</p>
② 若者チャレンジ	<p>○雲南コミュニティキャンパス(延べ69人の大学生が参加、うち本市出身10人)や幸雲南塾(塾生17人)のほか、市内事業者の学び合いをサポートする事業創出ラボSHIFT、スペシャルチャレンジ制度により、若手人材の育成・確保に取り組んだ。 ○各プログラムごとにOBやOGのコミュニティづくりに取り組み、参加者同士のつながりづくりから新たな連携が生まれた。今後それぞれのコミュニティを拡大し、参加者同士の学び合いを生み出していく。 ○スペシャルチャレンジ制度について、市民代表等で組織するスペシャルチャレンジ共創会議において、これまでの検証や制度のあり方・審査方法等の見直しを行った。</p>
③ 大人チャレンジ	<p>○地域の担い手の育成を目的に地域経営カレッジに取り組んだ。波多地区では、出身者等を含めた若者世代の仲間づくり、関係人口の拡大につながった。 ○各地域で、より主体的に担い手育成の取り組みが展開されるよう、地域と行政の協働のまちづくりに関する基本協定に新たに担い手育成に関する項目を盛り込むとともに、担い手育成を目的とした地域自主組織への補助金制度を新たに創設した(令和4年度より制度スタート)。</p>
④ 企業チャレンジ	<p>○5件の実証事業に取り組み、地域と企業の連携・協働が進んだ。新たに3社と地域連携協定を締結したほか、複数の企業と次年度以降の協定締結に向けた協議を進めた。 ○全ての地域自主組織を訪問し、資源や課題の洗い出しを行い、地域と企業を繋ぐデータを整理し、企業にとって解決すべき課題を明確にした。 ○地域活性化企業人によって、民間企業の知見やノウハウを活用しながら、幅広い分野の企業へアプローチをして、地域課題に取り組む事例が増加している。</p>

3. 今後の主な課題と方向性

プロジェクト名	今後の主な課題(R4～6年度)・方向性(R5年度取組方針)
① 子どもチャレンジ	<p>【課題】多様なニーズに応え、社会に求められる資質・能力を育む教育環境の創出（背景：少子化、生徒減少、働き方改革など）。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶地域・民間との協働による放課後クラブの創出、生徒受入環境の確保、文理融合による雲南式探究の高度化。 ▶教育・学校のDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進。
② 若者チャレンジ	<p>【課題】県内大学との連携強化による大学生人材の育成・還流の促進及び市内で雇用を創出する産業づくり。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶出口戦略を含めた大学生の人材還流構想の検討と仕組みづくり。 ▶産業クラスター(ヘルスケア、農業、物流等)づくりと地域おこし協力隊制度の効果的な活用による人材獲得の推進。
③ 大人チャレンジ	<p>【課題】地域自主組織の事務局職員の担い手不足及び役職員の負担感の増、意欲の低下。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶担い手育成事業補助金等による次世代の地域活動参加のきっかけづくり。 ▶地域自主組織職員の処遇改善に向けた検討。 ▶地域間での事例共有や学び合いによる高め合い、地域の事業や組織の見直しの推進。
④ 企業チャレンジ	<p>【課題】地域課題に対する企業とのマッチング及び取組を継続していくための資金調達方法の確立。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶社会実装に向けて、企業版ふるさと納税制度を活用した資金調達の仕組みづくりの構築。 ▶重点領域として、脱炭素社会の実現に向けた官民連携プロジェクトの組成を進める。 ▶企業チャレンジ事務局の自立・自定に向けた体制整備を行う。

4. 分野の取組方針と成果指標

プロジェクト名	総合戦略(R2～R6年度)に定めた取組方針								
	目的(対象・意図)								
PJ① 子どもチャレンジ	[取組方針] 新しい時代に対応した「教育モデル」を構築し、「スペシャルチャレンジ」(※)を起こす気概のある18歳を育む。 ※my(個人の内面からこみ上げてくる)、social(社会性を帯びる)、action(主体的な行動を伴い学び成長する)の観点を有するチャレンジ。								
	対 象	中学生・高校生	意 図	チャレンジを実践する					
		市内高校		日本一スペシャルチャレンジが生まれる学校となる					
		教育関係者		自らが変革する気概に溢れチャレンジを実践する(子どもが真に求める教育環境の構築に貢献する)					
	成果指標(KPI)		単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
	A	チャレンジしやすいまちと感じる高校生(3年生)の割合	%	目標	70.0	72.5	75.0	77.5	80.0
		実績		75.3	89.6				
	【測定企画】市内高校生への意識調査で把握		目標					66.7	
B	将来も雲南市のまちづくりに関わりたいと思う高校生(3年生)の割合	%	目標	64.0	68.0	72.0	76.0	80.0	
	実績		75.3	79.7					
	【測定企画】市内高校生への意識調査で把握		目標					61.2	
	実績								
プロジェクト名	総合戦略(R2～R6年度)に定めた取組方針								
	目的(対象・意図)								
PJ② 若者チャレンジ	[取組方針] 志ある大学生や若者、市内事業者のイノベーション(※1)を創発し、地域に必要な新事業(※2)を創出する。 ※1 新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造すること ※2 既存事業の革新も含む								
	対 象	成長・成果達成意欲のある大学生	意 図	学生起業家として市内で実践する					
		市内外の志ある若者、市内事業者		学生起業家として地域課題解決を実践する					
				地域に必要な新事業を創出する					
	成果指標(KPI)		単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
	A	UCC参加学生のうち市内で地域課題解決を実践する大学生の割合	%	目標	25	30	35	40	40
		実績		11	28				
	【測定企画】政策推進課にて実数把握		目標					20	
B	地域(社会)課題解決に資する新事業創出数	件	目標	5	5	5	5	5	
	実績		5	4					
	【測定企画】政策推進課にて実数把握		目標	2	2	2	2	2	
	実績		実績	3	4	4	3	5	

PJ③ 大人チャレンジ	[取組方針] 地域を担う多様な人材を育成・確保する仕組みを構築するとともに、地域の持続可能性を高める多世代・多分野の“ソーシャルチャレンジ”を創出する。									
	対象	地域自主組織	意図	多様な地域づくりの担い手と連携・協働し、地域の持続可能性を高める人材の育成・確保と多分野にわたる課題解決のチャレンジを促進する						
	成果指標(KPI)			単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
	A	多世代・多分野の連携により実施された地域の課題解決に向けた取組数		件	目標	3以上	3以上	3以上	3以上	3以上
【測定企画】 地域振興課にて実数把握		実績	3		2				3	

プロジェクト名	総合戦略(R2～R6年度)に定めた取組方針 目的(対象・意図)								
PJ④ 企業チャレンジ	[取組方針] 地域と市内外の企業による連携協働を進め、社会課題を解決する新事業を創出する。								
	対象	地域自主組織、市民	意図	企業と連携・協働して地域課題解決に取り組む					
		市内外の企業		社会課題を解決する新事業を開発する					
	成果指標(KPI)			単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度
A	連携協定を締結した企業数		件	目標	3	3	3	3	3
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握			実績	2	3			
B	企業と連携・協働した地域自主組織数		地区	目標	3	3	3	3	3
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握			実績	5	8			
C	社会実装件数(実証事業を経て、新たに地域にサービス提供された事業数)		件	目標	1	2	3	4	5
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握			実績	2	-			